

校長室から

学校教育目標

　　「知・徳・体、調和のとれた生徒の育成」

　　　　　　　～進取的な努力をする人材の育成～

令和4年5月6日　第5号

何のために勉強するのか

　フェルメ－ルという画家がいます。30数点の絵しか残っていませんが、「真珠の耳飾りの少女」などは有名で、一度は目にしたことがあると思います。「フェルメ－ルブル－」と呼ばれるさわやかな青が美しい一枚です。

この夏に大阪でフェルメ－ル展が開かれるらしい。たくさんの人が来て、うんざりしそうですが、本物(偽物事件とかあったりしました)を出会えることを今から楽しみにしています。

年末になると町のあちらこちらで流れるベートベンの第九。これの本物を生で聞いた時の感動は、言葉にできません。凄い一曲だと感心していたら、ブラ－ムスという作曲家も同じように感じていて、第九を超える作品を作れないものかと苦心惨憺２１年。この曲を最初にCDで聞いて飛び上がりました。出だしの荘厳さにフィナ－レの爽快さ。当然、生のオーケストラで聞いた時の感激は、今でも肌に残っています。

「フィボナッチ数列」と呼ばれる数字の並びがあります。

１、２、３、５、8…と続いていきます。(8の次は何かな?)

この数字と生物学的関係性があると知った時の驚きは格別でした。世界中に研究者がいることも、なんだか人間の崇高さを感じて、もう少し早くこの事実に出会っていれば私の人生の方向性も変わっていたのに。

何のために勉強するのか。

それは人一倍の感動を得るためだと思います。

しっかり勉強して、感動感激の人生を送ってほしいと思います。